

# 韓国でリフォーム参入

## ネクストワン 高層マンションに的

戸建て住宅建設やリフォームを手がけるネクストワンインターナショナル(千葉市、遠藤一平社長)は韓国でリフォーム事業に乗り出す。2017年中に首都ソウルに改修後の台所や風呂場などを紹介するモデルルームを開く。高層マンションが立ち並び、ソウルでのリフォーム需要の拡大に着目。初年度に年間約50件の受注を目指し、収益源の多角化を進める。

## モデルルーム、来年に

同社は2012年、リフォーム専門のモデルルーム「あるある情報館」

を千葉市内に開いた。リフォーム事業者は通常、居住者が既に購入した物件の改修を手がける場合が多い。一方、あるある情報館は中古マンション物件の仲介からリフォームまでを一貫して手がけるのが特徴だ。

韓国では「あるある情報館」と同様のモデルルームをソウルに設ける。物件の仲介から改修までをパッケージで売り出す計画だ。物件の仲介はソウルを中心に仲介事業を手がけている現地法人「ネクストワンコリア」が担う。施工は現地の工務店に委ね、年間約50件の受注をめざす。

韓国でリフォーム事業を始める背景には、マンションが多い住宅事情がある。韓国統計庁によると「アパート」(日本のマンションを指す)に住む世帯の割合は15年に48%に上った。マンションの老朽化が進む一方で、リフォーム市場は日本に比べ小さく、成長の余地は大きいと判断した。

同社は人口減少に伴う日本の住宅市場の縮小を見据え、13年に韓国で不動産仲介事業、ベトナム

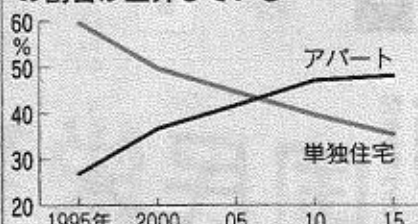
で宅地造成事業などに進出した。韓国のリフォーム事業が軌道に乗れば、同事業の収益を基に韓国で戸建て住宅の販売を手がける構想も描いている。また、ベトナムでも近く住宅販売に乗り出す考えだ。

韓国での収益拡大へ、



ソウル市内は高層マンションが密集

アパート(マンション)に住む世帯の割合が上昇している



(注)韓国統計庁の資料を基に作成。「アパート」は日本のマンションなど。「単独住宅」は戸建て住宅などを指す

## 地域とアジア

### 早期整備、財務相に要望

#### 知事、北千葉道路巡り

千葉県の森田健作知事より地域の生産性が上がる」と道路整備の重要性に北千葉道路の早期整備を求める要望書を提出した。森田知事は麻生財務相に対し、北千葉道路の整備は都心部や首都圏北部から成田空港へのアクセス向上や災害時の緊急輸送道路の確保などにつながる」と説明。地域高規格道路の計画路線への格上げを訴えた。

千葉県市川市から千葉ニュータウン(印西市)を経て成田市を結ぶ全長約43kmの北千葉道路は1978年度に整備に着手。2014年度に千葉ニュータウン地区の21.5kmが開通した。残る区間のうち千葉ニュータウン-成田市の東側13.5kmは国が5.6km、残りの建設を負担することが決まっている。

森田知事は6日に石井啓一国土交通相にも同様の要望書を提出した。

同社は人口減少に伴う日本の住宅市場の縮小を見据え、13年に韓国で不動産仲介事業、ベトナムで宅地造成事業などに進出した。韓国のリフォーム事業が軌道に乗れば、同事業の収益を基に韓国で戸建て住宅の販売を手がける構想も描いている。また、ベトナムでも近く住宅販売に乗り出す考えだ。

仲介事業もテコ入れする。ネクストワンコリアは物件の紹介に加え、インターネット接続の申請を代行するサービスなどが好評で、日本人駐在員向けのシェアを伸ばしている。11月から東京都内に日本企業向けの営業員を配置し、韓国転勤者の需要を掘り起こす。ネクストワンインターナショナルは10年に設立した。千葉県内を中心に年間約150棟の戸建て住宅を建設しているほか、リフォーム事業などを手がける。17年3月期の売り上げは前期比1割増の約45億円を見込む。

ライナーの感想を語った。現在の3代目スカイライナー

## ナーに

京成電鉄は13日、成田国際空港と京成上野駅を結ぶ特急「スカイライナー」

## 式典

同社の平田憲一郎副社長は式典で「遠くまで

現在の3代目スカイライナー